



分科会

資 料

第24回 三遠南信サミット2017 in 南信州 「道」分科会



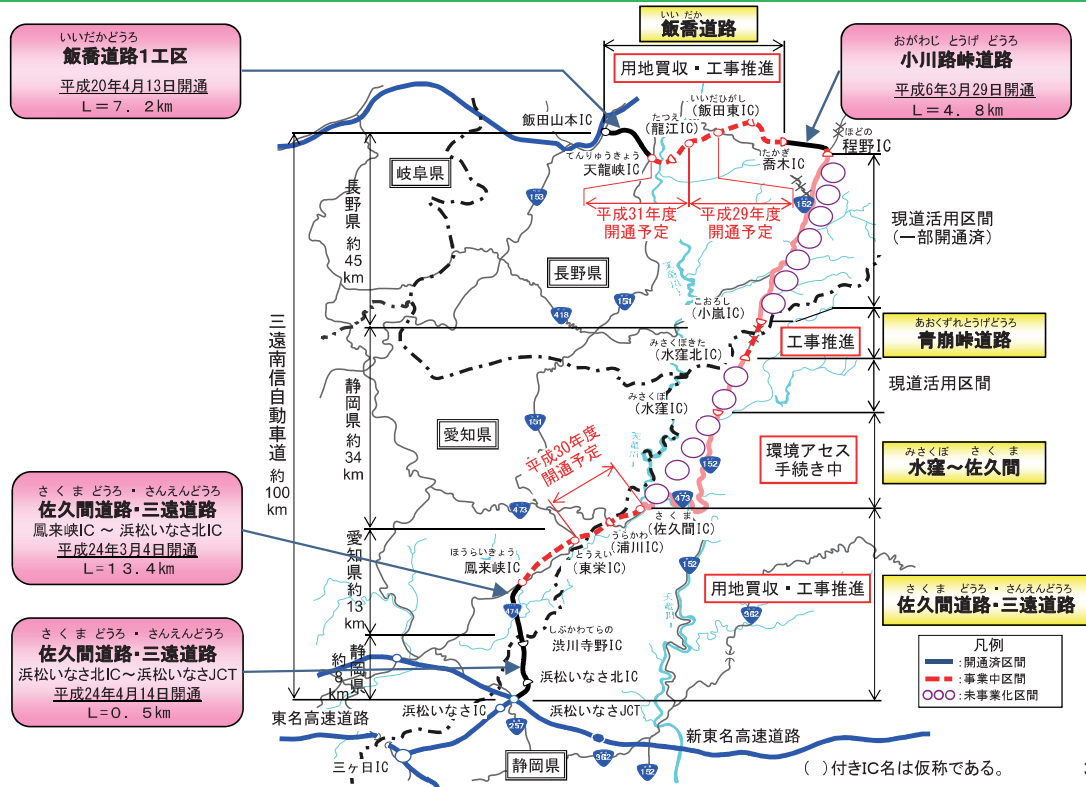
第24回三遠南信サミット2017in南信州
「道」分科会

交通ネットワークを生かしたまちづくり

平成29年2月15日

国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所
事務所長 中平 浩文

三遠南信自動車道全体の事業進捗状況



3

飯橋道路の事業進捗状況

- 天龍峡IC～龍江IC(仮称)間について、道路建設工事や天龍峡大橋(仮称)の上部工事を実施します。
- 龍江IC(仮称)～飯田東IC(仮称)について、平成29年度の開通を目標に橋梁上部工事等を実施します。
- 飯田東IC(仮称)～喬木IC間について、用地買収や道路建設工事を実施します。



① 天龍峡大橋(仮称)の橋梁上部工事



② 龍江IC周辺の橋梁工事



③ 飯田東IC周辺の橋梁上部工事

4

青崩峠道路の事業進捗状況

○環境、水文調査を実施するとともに、道路建設工事や橋梁下部工事及びトンネル工事を実施します。



小嵐IC周辺の改良工事



小嵐IC周辺のトンネル工事



水窪北IC周辺の改良工事

5

水窪から佐久間 間の事業進捗状況

○事業化に向けて、環境影響評価の手続きを推進します。

【水窪～佐久間】
・環境影響評価 手続き中



クマタカ(H28.3.2)



第3回環境影響評価技術検討委員会
(H27.5.25)

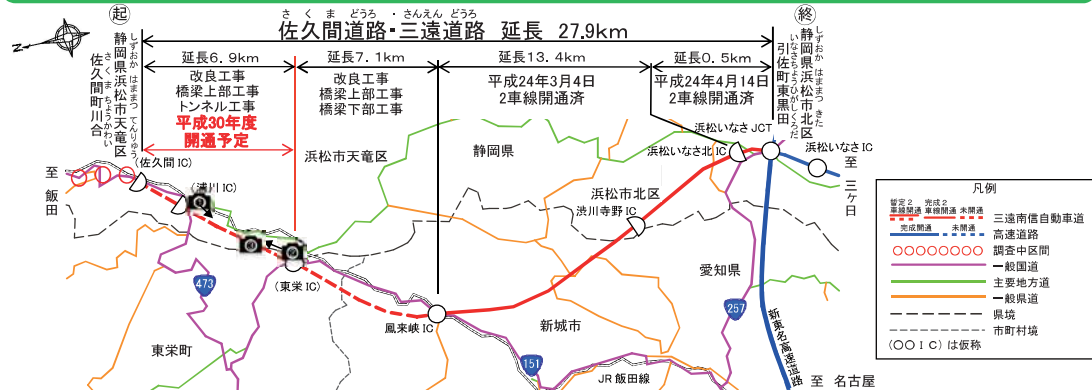


環境調査

6

佐久間道路・三遠道路の事業進捗状況

- 佐久間IC(仮称)～東栄IC(仮称)間について、平成30年度の開通を目標に工事を実施します。
 ○東栄IC(仮称)～鳳来峡IC間について、用地買収や橋梁上部工事及び橋梁下部工事等を実施します。



H28.10月撮影
おおちせ がわ
大干瀬川橋(仮称)



H28.10月撮影
佐久間第1トンネル(仮称)東栄側坑口



H28.10月撮影
通り初めの儀(両県小学生合同による万歳) 7

期待される効果① 三遠南信地域における広域ネットワークの構築

- 県境付近では高速ICアクセス30分カバー圏域に達していない
 ○三遠南信自動車道の整備により、**奥三河・北遠地域、下伊那地域のIC30分カバー圏域の人口割合は、大幅に増加し、飯田市、浜松市などの都市部との速達性が向上**

■高速IC30分圏域の拡大



※ 北 遠 地 域: 浜松市天竜区(佐久間町、水窪町)
 奥三河地域: 東栄町、股栗町、豊根村
 下伊那地域: 旧下伊那郡上村、南信濃村、松川町、高森町、阿南町、清内路村、阿智村、浪合村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

出典: 平成22年国勢調査、平成28年度民間プローブデータ

■高速IC30分圏人口カバー率

【下伊那地域】



【北遠・奥三河地域】



期待される効果② 災害に強い地域ネットワークの構築

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路がない
- 三遠南信自動車道の整備により、**地域間を結ぶ交通軸が形成**され、災害に強い道路の整備により、**広域防災ネットワークが構築**



<並行現道の事前通行規制頻度及び被災状況>

- H27.4に県道上飯田線青木村氏乗付近にて、**法面崩壊**が発生。
- H22.7に国道418号天龍村折立付近にて、**路肩決壊**により通行止め。(7ヶ月間片側交互通行規制)



県道上飯田線青木村氏乗付近 (H27.4)



国道418号(長野県天龍村折立付近) (H22.7)

三遠南信自動車道	高速道路	通行止め箇所
開通済	一般国道	×××××
事業中	通行不能区間	
環境影響評価実施中	事前通行規制区間	
現道活用区間	災害等による通行止め箇所	○
開通済	(H22.7豪雨災害時)	
事業中		

9

期待される効果③ 名勝地天龍峡のまちづくり支援

- 飯田市では、平成24年に天龍峡地域のまちづくりを考慮した「名勝天龍峡整備計画」を策定し、名勝天龍峡周辺の風景を**歩いて楽しめる遊歩道**を随時整備
- 天龍峡大橋(仮称)には、名勝地天龍峡を見おろし、**四季折々の風景が楽しめるパノラマビュースポット**として添架歩廊を計画しており、**さらなる天龍峡周辺への来訪者増加が期待**

■天龍峡周辺の遊歩道計画



■天龍峡大橋(仮称)



■添架歩廊(地上80mのパノラマビュー)



10

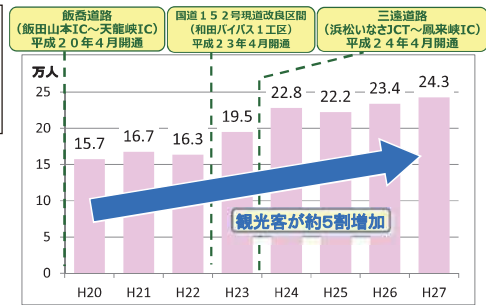
開通効果①（三遠南信自動車道）観光交流の強化により地域が活性化

- 三遠南信自動車道の一部開通に伴い、**遠山郷周辺へのアクセス性が向上**
- H20～H27の8年間で遠山郷周辺の**観光客数が約5割増加**
- 三遠南信自動車道の全線整備により、**より一層の観光交流の促進が期待**

■三河地域や遠州地域との観光交流の促進

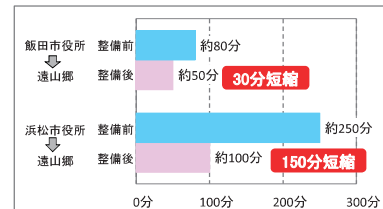


■遠山郷周辺の観光入込客数の推移



※しらびそ高原、下栗の里、遠山温泉郷等
出典：長野県観光地利用者統計調査結果

■遠山郷から飯田・浜松市役所までの所要時間

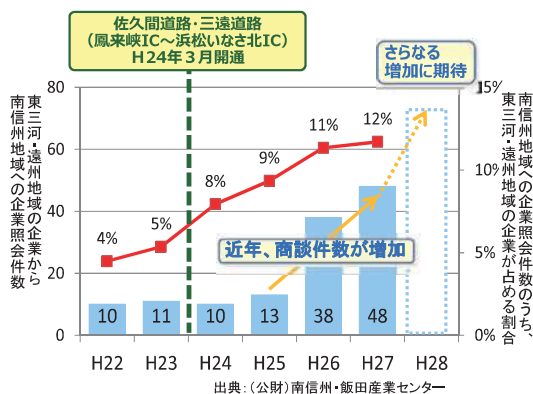


11

開通効果②（三遠南信自動車道）地域間連携の強化による航空機関連産業を支援

- 東三河・遠州地域⇄南信州地域との**企業取引は増加傾向**
- 飯田・浜松・豊橋の連携が三遠南信道により強化され、**航空機関連産業を支援**

■東三河・遠州地域の企業から南信州地域への企業照会の実績



■アジア最大の航空宇宙産業クラスターの形成



出典：経済産業省 中部経済産業局(H26管内生産動態統計)

12

開通効果③（飯喬道路）生産性向上による成長力の強化

- 飯田市川路地区にある天龍峡エコバレーファクトリー川路地区では、**三遠南信自動車道の開通により新たな企業が進出**
- 三遠南信自動車道の開通により、**さらに企業進出や発展に期待**

■天龍峡エコバレーファクトリー川路地区



■産業団地への新規企業進出 (H27.4.21)



企業の声（（株）丸中根園）
 ・三遠南信自動車道の開通を機に、新しい観光の流れに変わるかと 考え入居を決定しました。
 ・農業レストランの営業展開として
 浜松等中京圏からの集客を期待しています。

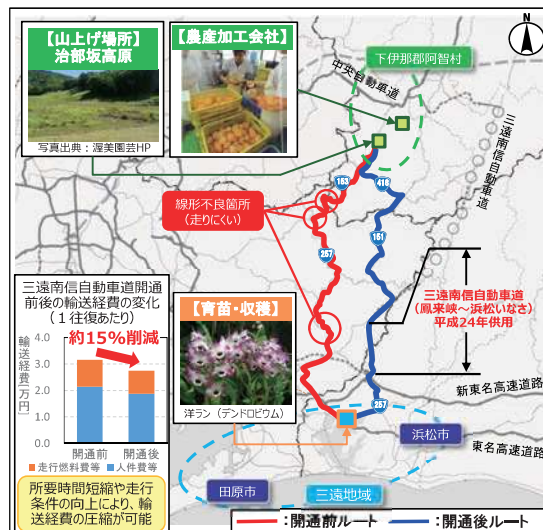
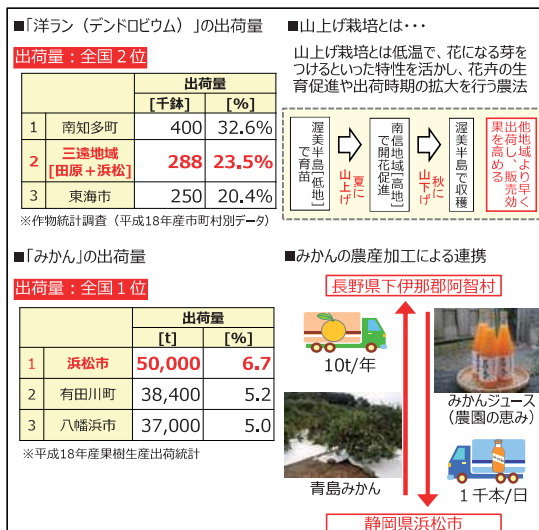
■天龍峡エコバレーファクトリー川路地区の分譲済面積 (千㎡)



開通効果④（佐久間道路・三遠道路）農業連携の強化

- 三遠地域（田原市・浜松市）は洋ラン（デンドロビウム）の出荷量が全国2位。夏の高温時期に標高の高い寒冷地に苗を移して開花を促進し、再び低地に移して収穫する「山上げ栽培」を実施
- 浜松市は「みかん」の出荷量が全国1位。浜松市で生産した「みかん」を長野県下伊那郡阿智村に輸送し、農産加工（ジュース）しており、**三遠南信自動車道が効率的な輸送を支援**
- 三遠南信自動車道の全線開通により、更なる**輸送の効率化、線形不良箇所の走行改善による円滑な輸送が実現**

■三遠南信道（浜松いなさJCT～鳳来峡IC）開通に伴う農業連携の強化



リニア中央新幹線開業による交流人口へのインパクト

- リニア中央新幹線開業により、南信地域と大都市圏との**アクセスが格段に上昇**
- リニア長野県駅利用者数は年間約250万人の見通し。開業効果をさらに高めるためには、**リニア駅との時間圏を拡大する道路整備が必要**

■リニア中央新幹線開業による時間変化



■リニア長野県駅の位置



15

アクセス強化と交流人口の関係

- リニア開業及び三遠南信道整備は、大都市と三遠南信地域間における**速達性や信頼性などのアクセスを強化**
- この「アクセス強化」と「地域の取り組み」は、**交流人口の増加**を促し、三遠南信地域への**観光消費額をより大きく**する

■アクセスの主要要素

はやくいける	⇒速達性
いつでもいける	⇒信頼性
快適にいける	⇒快適性
楽しいける	⇒娯楽性
わかりやすい	⇒平易性

■アクセス強化による観光消費額への影響

		観光資源	
		魅力的	現状
アクセス	強化	より大きい観光消費額を目指す ◎(大)	△(小)
	現状	○(中)	変化なし or停滞

リニア開業
三遠南信道整備

- 三遠南信道の整備が地域に与える影響
- ①大都市と三遠南信地域のアクセス強化
 - ②魅力を高める地域の取り組み(地域連携)の促進

交流人口増加 → 観光消費額増加

16

アクセス強化により交流人口が伸びた事例

- 北陸新幹線金沢駅開業(H27.3)により、大都市と直接結ばれた金沢では観光客数が対前年比で約1.5倍に増加
- 金沢から約1時間離れた世界遺産白川郷のある白川村の観光客数は、バス路線の増強などアクセス強化により、約1割増加。(東海北陸道全通時も増加)

■北陸新幹線開業による交流人口増加の事例

兼六園 197万人⇒289万人 約1.5倍増加 白川村の観光客数の推移



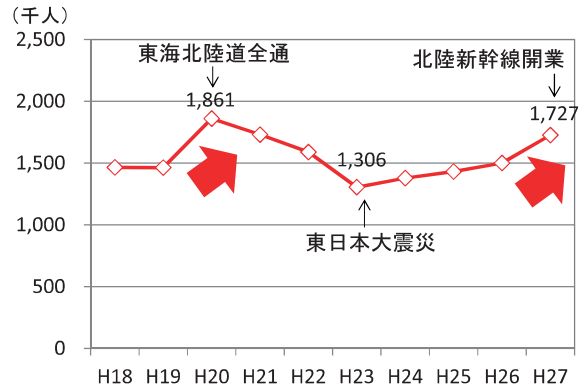
白川郷 約1割増加(対前年比)



写真提供 岐阜県白川村役場

H7年12月: 白川郷合掌造り集落世界遺産登録

H7(77.1万人)⇒H8(101.9万人) 約1.3倍に増加



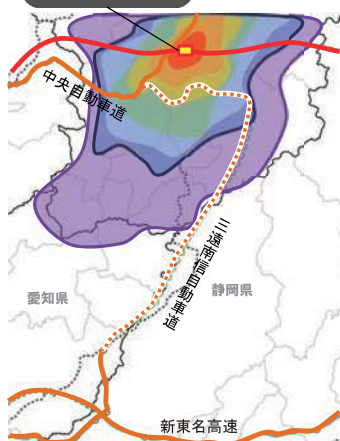
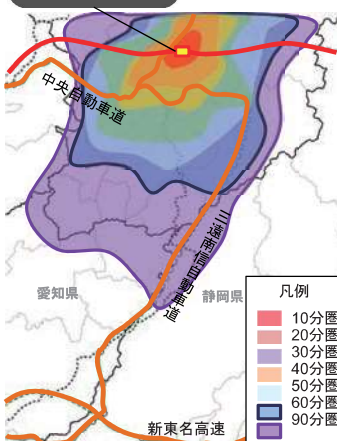
出典: 白川村「観光統計」

17

リニア駅勢圏を拡大する三遠南信自動車道

- 三遠南信道がある場合、沿線地域を中心にリニア駅のアクセス時間が短縮
- リニアを利用した観光客を三遠南信地域に呼び込むためには、アクセス利便性を高め、リニア駅勢圏を拡大する道路ネットワークが必要

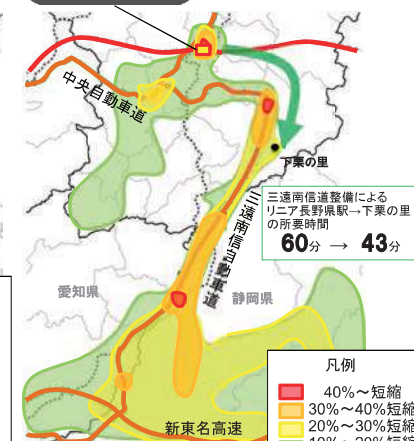
■三遠南信道有無別リニア長野県駅の時間圏

三遠南信道等がない場合
リニア長野県駅三遠南信道等がある場合
リニア長野県駅

三遠南信道等がある場合は、将来道路網を想定。

■三遠南信道等整備による
リニア長野県駅までの時間短縮率

リニア長野県駅



18

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道 23 号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道 150 号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。